国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和８年３月６日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要を公表します
（第二部会 第２回定例会議）

令和８年１月２６日（月）に東北地方整備局（港湾空港関係）において、「令和７年度入札監視委員会（第二部会第２回定例会議）」を開催しました。

審議概要について別紙のとおりお知らせします。

なお、今回の委員会では、事前に抽出された案件６件の審議を行い、意見の具申や勧告事項はありませんでした。

〔発表記者会〕宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局（港湾空港関係）
仙台市青葉区本町３丁目３番１号
ＴＥＬ　０２２－７１６－００１３（直通）
総務部　契約管理官　山田（やまだ）　耕平（こうへい）　（内線：６２２１）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）　審議概要

開催日及び場所		令和8年1月26日（月）　東北地方整備局　会議室	
委員		部会長　真田　昌行【弁護士】 部会長代理　河井　正【東北工業大学　工学部　教授】 委員　坂本　直樹【（国）山形大学　人文社会科学部　教授】	
審議対象期間		令和7年4月1日　～　令和7年9月30日 （上記期間に契約締結した案件を審議）	
審議案件		総件数　6件　（別紙－1　審議案件一覧のとおり）	
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	1件	（備考） ・審議に先立ち、次の(1)～(8)について、報告を行いました。 (1)工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2)指名停止措置の運用状況 (3)談合情報等の対応状況 (4)再度入札における一位不動状況 (5)低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6)一者応札の発生状況 (7)不調・不落の発生状況 (8)高落札率の発生状況
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	2件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等		2件	
役務の提供等及び物品の製造等		1件	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答		別紙－2のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		今回の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。	

別紙－１

審　議　案　件　一　覧

【工事】

入札方式	工　事　名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約締結日	契約の相手方	契　約金　額（単位：千円）	落札率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	青森港油川地区岸壁(-12m)本体外工事	港湾土木工事	5者	5者	R7.4.24	東亜・大本特定建設工事共同企業体	2,854,500	92.17	青森港湾事務所
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)付帯施設消波外据付工事	港湾土木工事	1者	1者	R7.7.22	北日本海事興業(株)	269,500	98.06	八戸港湾・空港整備事務所
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	小名浜港東港地区防波堤(第二沖)基礎外工事	港湾土木工事	10者	9者	R7.4.24	あおみ建設(株)	601,788	91.39	小名浜港湾事務所

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業　務　名	業種区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契　約締結日	契約の相手方	契　約金　額（単位：千円）	落札率（単位：%）	備　考
一般競争入札	港湾整備に係る沿岸気象海象情報の予測情報等提供業務	建設コンサルタント等	1者	1者	R7.4.1	(一財)沿岸技術研究センター	41,140	99.18	港湾空港部
簡易公募型プロポーザル方式	船川港本港地区岸壁機能強化検討業務	建設コンサルタント等	4者	4者	R7.8.6	船川港本港地区岸壁機能強化検討業務 日本港湾コンサルタント・沿岸技術研究センター設計共同体	28,600	99.85	仙台港湾空港技術調査事務所

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業　務　名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約締結日	契約の相手方	契　約金　額（単位：千円）	落札率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式	仙台塩釜港巡回警備及び灯浮標外灯火確認	役務の提供等	3者	3者	R7.4.1	キョウワセキュリオン(株)	996	39.43	塩釜港湾・空港整備事務所

別紙－２

１．報告	
意見・質問	説明・回答
・なし	

２．審議	
意見・質問	説明・回答
1　青森港油川地区岸壁(-12m)本体外工事	
・評価点及び加算点の内訳を確認したところ、落札者の決定には、技術提案の評価点の影響が大きいものと思慮するが、落札者の技術提案のどの部分を優位に評価したのか。	・加算点（技術提案）は、施工上の工夫の有無、実現可能性の可否、期待される効果や施工方法などを総合的に評価しています。 本工事では評価テーマを二つ設けており、「鋼管矢板打設の効率的な施工方策」と「鋼管矢板の運搬・積み降ろし作業上の安全方策」です。 落札者の提案は、実績などの具体的な裏付けが示されていたこと、実施時期や施工方法が具体的に記載されていたことから優位と判断しました。
・契約金額の内訳について聞きたい。	・契約金額は28億5,450万円で、直接工事費は鋼管矢板製作費、現場での鋼管矢板打設費、施工箇所の両脇で実施する土砂流出防止対策としての水中コンクリート施工費等です。また、共通仮設費（クレーン運搬、導材運搬、汚濁防止膜）、現場管理費及び一般管理費、水質調査費で構成されています。
・評価点及び加算点について、技術提案以外の項目は全者同じになっているが、これらは何か一定の基準を満たしているかどうかの判断なのか。	・加算点は、WLBを推進する企業の評価は、関連する法等に基づく認定を受けているかの有無によります。また、賃上げの実施に関する評価は、対象年度において、従業員に対し平均給与額の一定割合を増加させる旨の表明の有無によって加算しています。 ・施工体制評価点は、予定価格以下かつ調査基準価格以上の場合で、品質確保の実効性と施工体制確保の確実性に支障がないことを確認し、満点の評価としています。

意見・質問	説明・回答
2　八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)付帯施設消波外据付工事	
・1者応札かつ高落札率になっている理由を説明してほしい。	・１者応札の理由について、参加可能な業者をシミュレーションしたところ青森県内企業で要件を満たす業者は14者で、そのうち入札説明書を入手した者は５者でした。入札参加を見送った者へのヒアリングを踏まえれば、「配置可能な技術者を確保できなかった。」等の理由により参加を見送ったものと思われます。 ・本工事の内容は、付帯施設（土砂処分場）に被覆石の投入・均しと消波ブロックの据付を行う工事です。当該工事の参加企業に求める施工実績を「被覆石投入及び被覆均し作業を行った工事」として設定し、下請けでの実績でも入札参加可能としており、参加者の間口を広げていましたが、施工場所が外洋に面し波浪の影響を直接受ける位置であることに加え、台風や冬季風浪など海象条件の厳しい時期の海上施工となるため、施工上のリスクを考慮し、結果的に１者応札になったと思われます。 ・高落札の要因としては、本工事の施工場所は沖波の影響を直接受け、かつ水深が浅く衝撃的な波圧が作用する厳しい条件であること加え、施工期間中に台風や冬季風浪の影響を受けやすいことから、参加者はこれらのリスクを勘案し入札額を高めに設定したものと思われます。
3　小名浜港東港地区防波堤(第二沖)基礎外工事	
・入札結果について、辞退と無効の理由を教えてほしい。	・辞退の１者は、申請時の配置予定監理技術者が別件の工事に従事することになり、入札を辞退しています。また、無効の１者は調査基準価格を下回る応札であったため、施工体制確認のため追加資料の提出を求めましたが、提出を辞退したため入札無効としています。
・入札金額は全者ほぼ同額なので理由を教えてほしい。	・調査基準価格は、「①直接工事費の97%、②共通仮設費の90%、③現場管理費の90%、④一般管理費の68%」を合計した金額で設定しており、本工事の場合、予定価格の91.38%となります。 　入札価格設定にあたり、各種単価の公表や見積参考資料により当局積算の条件明示がなされ高い精度の積算が可能となっており、調査基準価格と同額の者が多くなったと思われます。 　また、本工事は発注ロットが大きいことから、参加者の受注意欲が高まり、結果として調査基準価格ラインに応札額が集中したと推察します。

意見・質問	説明・回答
4　港湾整備に係る沿岸気象海象情報の予測情報等提供業務	
・1者応札の理由を説明してほしい。また、一般競争入札にしているが馴染むのか。	・１者応札となった要因としては、担当できる技術者の手持ち業務量を考慮し、参加を見送ったものと推察します。 ・本業務は、沿岸気象海象の予測（海上風予測、波浪予測、ナウファス観測地点波浪予測）を提供するものであり、波浪予測ができれば受注者以外でも実施可能と考えています。
・高落札率であるが予定価格はどうやって算定しているのか。	・予定価格は、当局の積算基準に基づいて適切に算定しています。 ・高落札率の要因は、積算基準、見積参考資料、各種単価が公表されていることから、高い精度の積算が可能なためと考えます。 　また、他の建設コンサルタント等業務とは異なり、本業務の特色として気象海象の予測を行うことから企業として気象庁から予報業務許可を受けていなければならず、履行期間が１年と比較的長く、年間通して技術者が本業務に従事することになるため、それに見合った利益確保を考慮したためと推察します。
5　船川港本港地区岸壁機能強化検討業務	
・プロポーザル方式の案件で４者は比較的多いと思うがその理由と、技術提案の得点理由を教えてほしい。	・参加表明書に関する要件の設定段階において、あらかじめ10者以上の参加可能者が存在することを確認のうえ要件設定していることが、参加者が比較的多い要因のひとつにあると考えます。 　また、年度始めの比較的早い時期での発注であったことから、技術者の手持ち業務量が比較的少ない時期であった可能性も要因として考えられます。 ・特定テーマ②に対する技術提案の評価で、着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたっての有効性が他３者より高いと評価しています。 　また、全体的に業務実施手順や業務量把握状況を示す実施フロー・工程計画についても妥当性を高く評価しています。
・見積合わせが４回にわたっているが、積算はどのように行っているのか。	・積算は設計の積算基準に則り行い、公募時点で業務規模の金額を明示しています（本件は説明書で2,900万円程度（税込み）と明示）。 　これにより参加者は予定価格に近い見積が可能となることに加え、見積合わせでは回数制限がないことから少額ずつ応札額を下げ、予定価格に近い金額で落札したため落札率が高くなったものと考えます。
6　仙台塩釜港巡回警備及び灯浮標外灯火確認	
・落札率が非常に低いが、どのような要因があるのか。また、低価格でも履行可能なのか。	・本業務は毎年度同様の内容で発注をしています。 　令和元年度以降、直近までの入札状況をみると、今年度の落札者が令和５年度を除き、各年度参加２～３者での競争入札を経て、落札・契約をしております。 　また、同社の落札率の推移を見ると、令和元年度から令和５年度までは、８２％～９９％の範囲でしたが、他者が落札した令和５年度以降の令和６年度の落札率が５７％、今年度３９％と大幅に低くなっています。 　これは、令和５年度に他者が落札したことにより、同社の競争意識や受注意欲が高まり、結果として低価格になったものと思われます。 　なお、昨年度の業務においては、落札率は低かったものの適切に業務が履行されております。